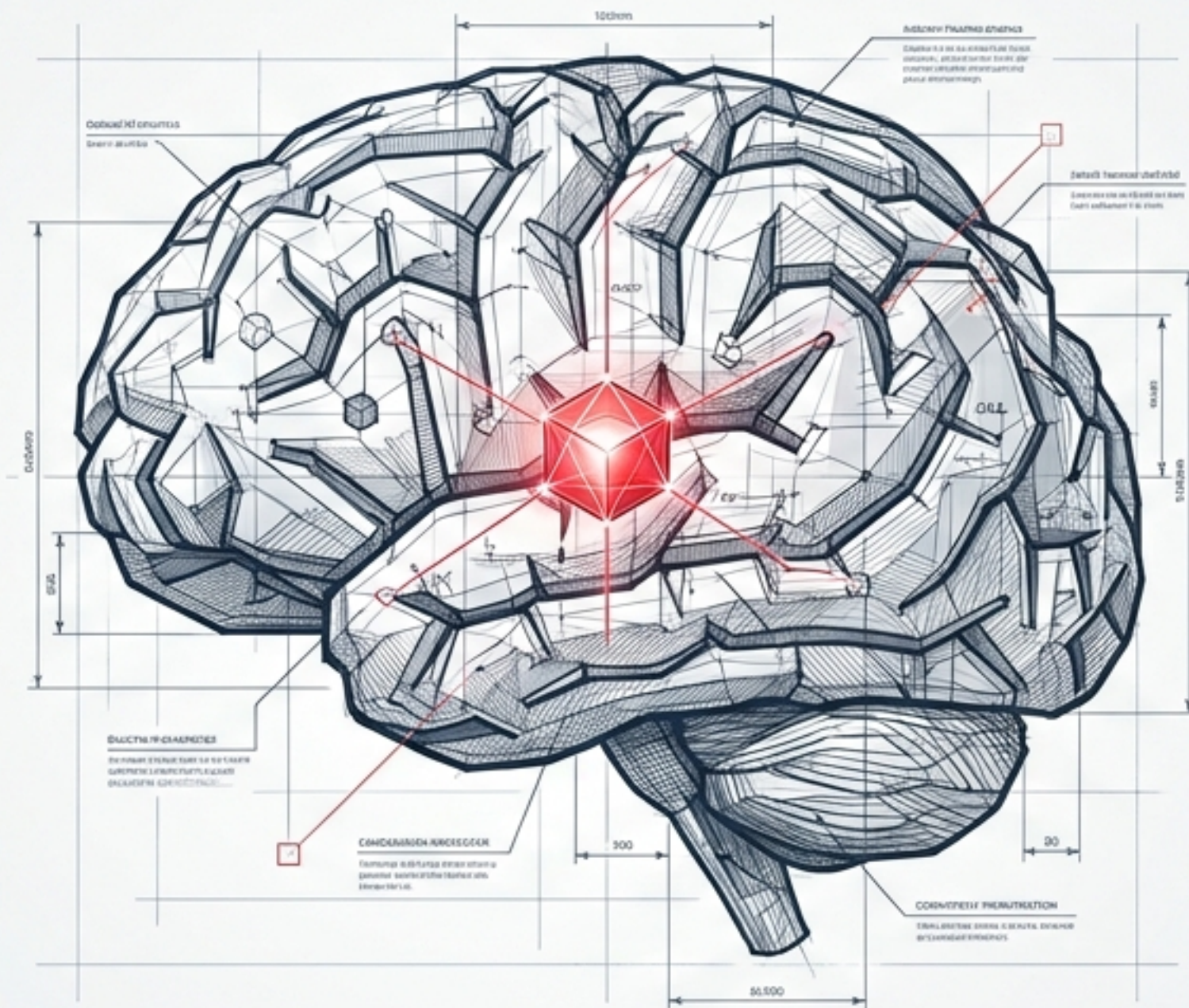


文字を読めぬ者は、現在地を見失う



動画の「わかった気」を破壊し、未加工の現実を生き抜く読解の筋トレ
「問いを読めない者は、自分の現在地を読めない。」

私たちは「受動的な情報摂取」という現代病に侵されている

動画脳



懇切丁寧な補助輪。
「わかった気」を生み出す空虚な心地よさ。

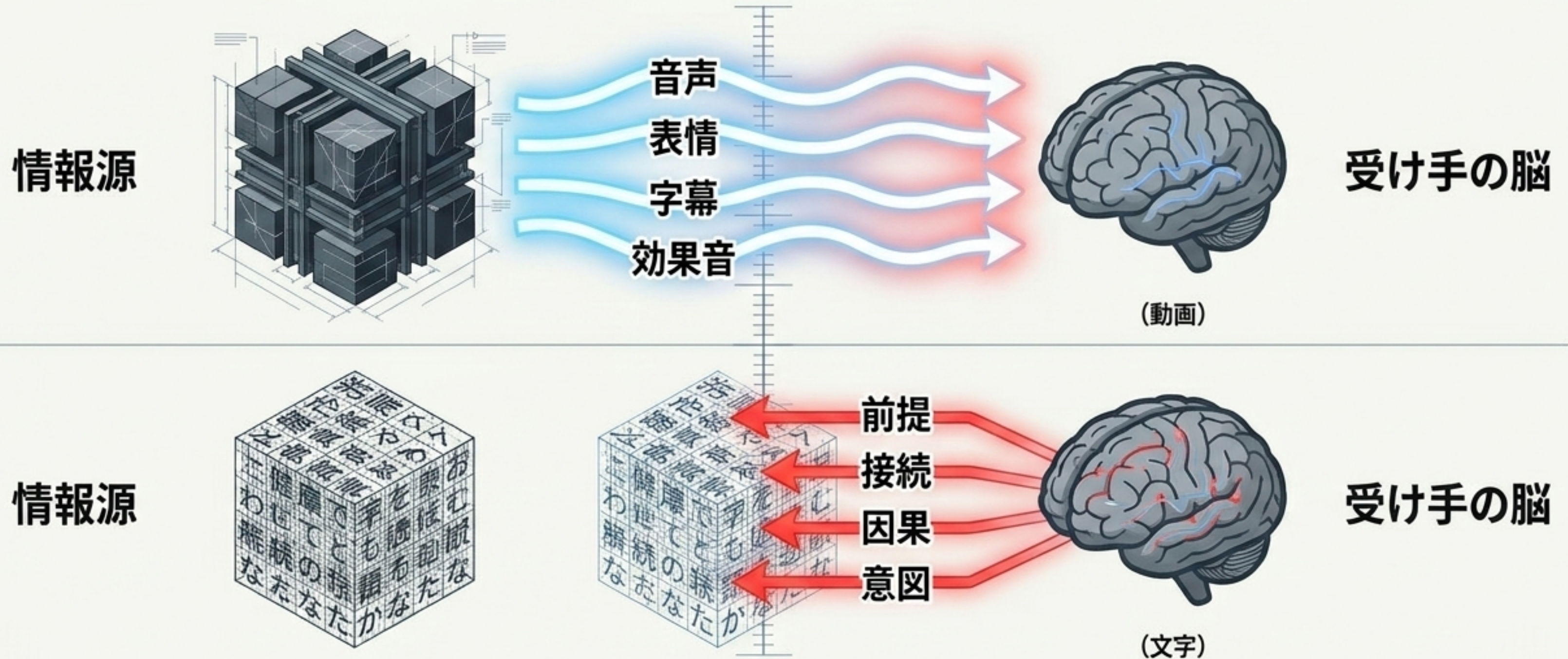
文字脳



静止した記号。脳内で能動的に再構築しなければ
意味を持たない未加工のデータ。

情報の受け取り方の違いが、**思考力と成長スピードの決定的な格差**を生む。

文字は、自ら歩み寄ってはこない



文字という静止した記号の奥にある構造を、自らの脳内で能動的に引き出す行為。

私たちが能動的に「**迎えに行って**」初めて、文字は意味を持つ。

一見同じ学習に見える「全く別の競技」

比較軸	動画	文字
メディアの性質	歩み寄る (至れり尽くせり)	静止している (決して甘やかさない)
要求される姿勢	受動・スキミング (読み飛ばし)	能動・認知的忍耐 (Cognitive Patience)
脳内処理	即時反応 (好き/嫌い・面白い/つまらない)	前提の接続と因果の再構築
最終形態	指示待ち人間 (解説を待つ)	自己修正・無限成長 (自分で問いを立てる)

科学が警告する「認知的忍耐」の欠如

日常的なスキミング（読み飛ばし）



- 深い読解には「背景知識との接続」「推論」「批判的分析」が不可欠である。（UCLA Maryanne Wolf氏ら）

長文の精読（認知的忍耐 - Cognitive Patience）



- 長文を注意深く読む習慣は、人間の**集中力**や**粘り強さ**と密接に関係している。（2023年研究）

真の恐怖は「本を読まないこと」ではない

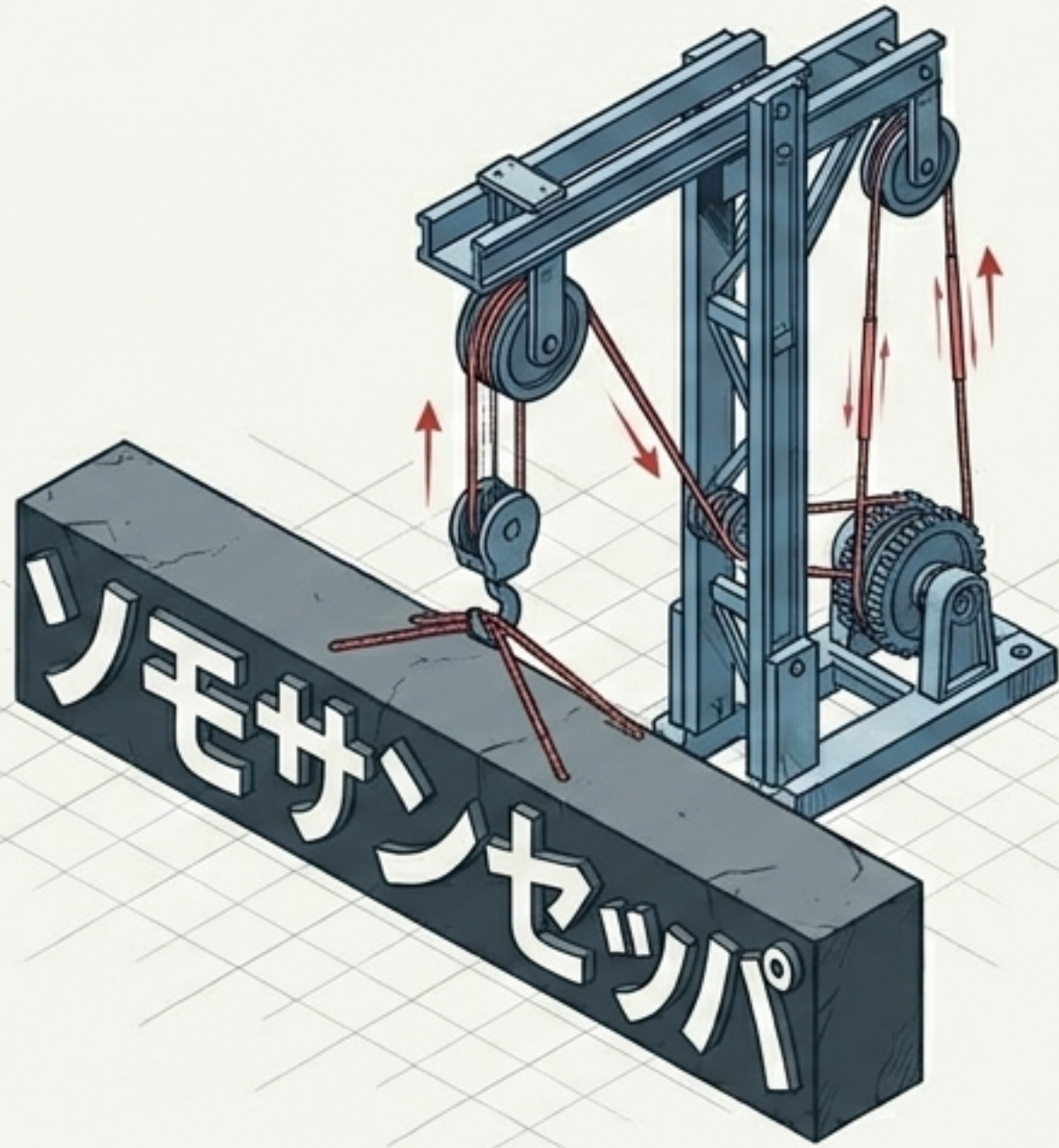


最も致命的な問題は、**文字だけで文脈を再構築する力が落ちること。**

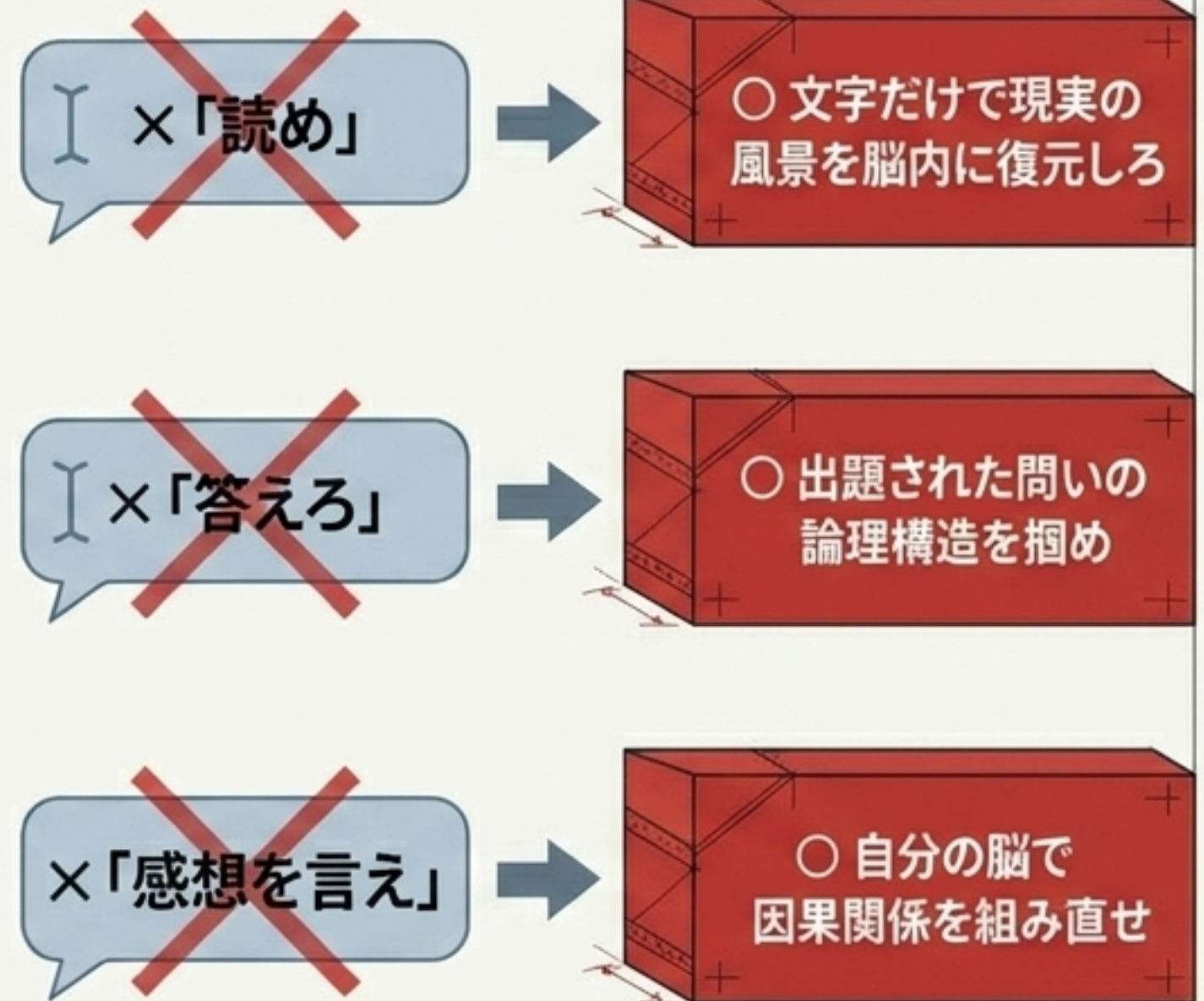
結果として生じる現象：

- **因果関係**を追えない
- **相手の意図**を組み立てられない
- 自分の**内面を言語化**できない

補助輪を外し、認知の足腰を鍛え直す「ソモサンセツパ」

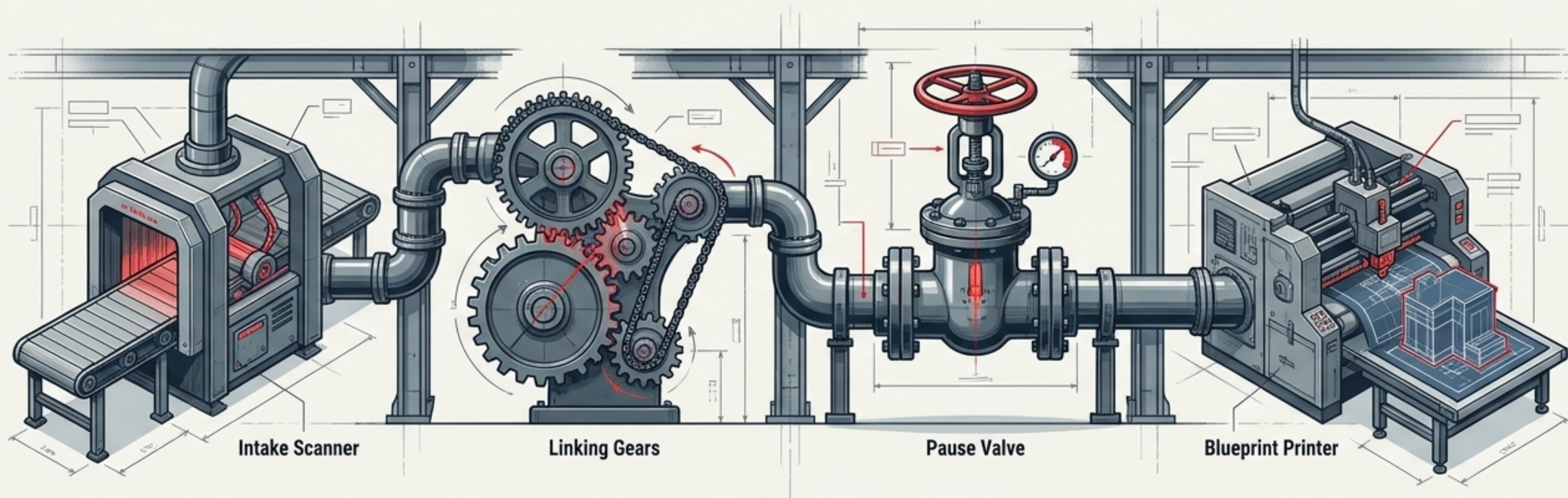


映像や音声といった便利な補助輪をあえて外し、文字だけの情報から**状況・論点・因果**を復元する「**読解の筋トレ**」。



ソモサンセツパが鍛える「4つの認知体力」

単に正解することではない。状況・意図・論点・因果を自らの手で復元するプロセスの構築。



① 前提を読む力

「なぜこの問いが出されたのか」
という背景を読み解く

② 因果を追う力

A→B→Cの論理の連鎖を追う。
感情論への逃げを封じる

③ 反応を止める力

好き/嫌いの即時反応を止め、
情報の「構造」を見極める

④ 自分の答えを文字にする力

自身の言葉で出力し、「理解し
たつもり」を心地よく破壊する

指導現場の真実：文字を読めない者は、現実も読めない

コーチの言葉：「マッチポイントの瞬間こそ、最大のピンチと心得よ。」

動画脳

「マッチポイントの瞬間こそ、最大のピンチと心得よ。」

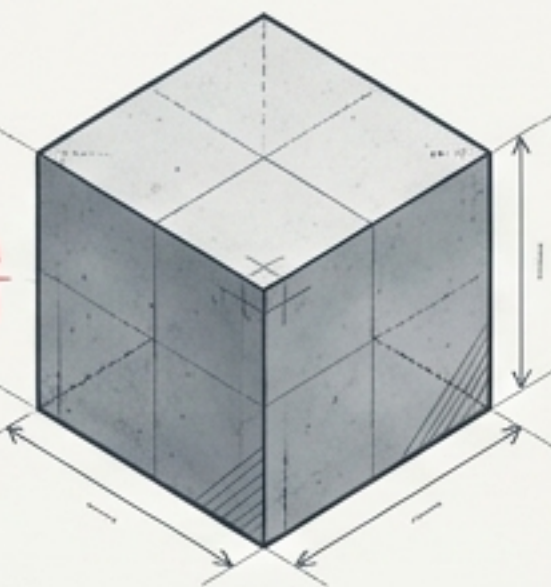
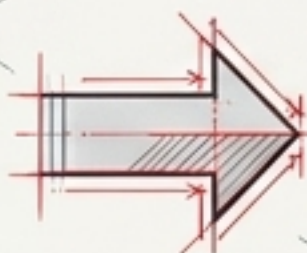
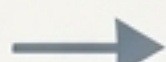


「そうなんです」
と思考停止

単なる「音のない動画」として通過する

文字脳

「マッチポイントの瞬間こそ、最大のピンチと心得よ。」



具体的な練習課題
への昇華

文字（言葉）の本質を読めない人にとって、アドバイスはただの文字列に過ぎない。

解説を待つだけの「指示待ち人間」への転落

文字からの情報取得を避けることは、「誰かの手厚い説明を待つ人」になることと同義である。

指示待ち人間
(説明を待つ人)

問い
(自ら立てた問い)

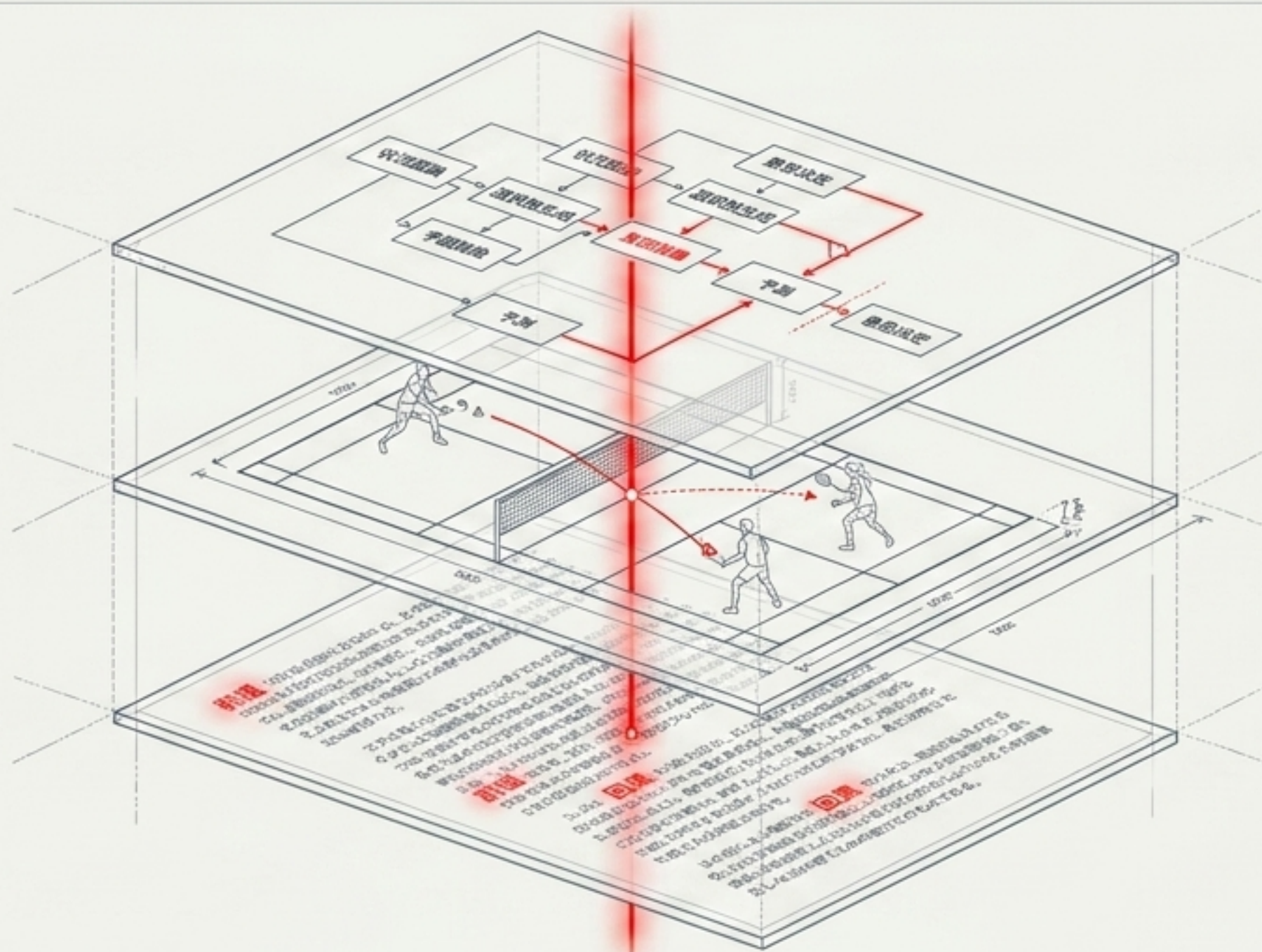
バドミントンコートにおける残酷な現実：コーチが横にぴったりついて指示を出してくれないと動けない選手。

現実の世界に、テロップも効果音も存在しない



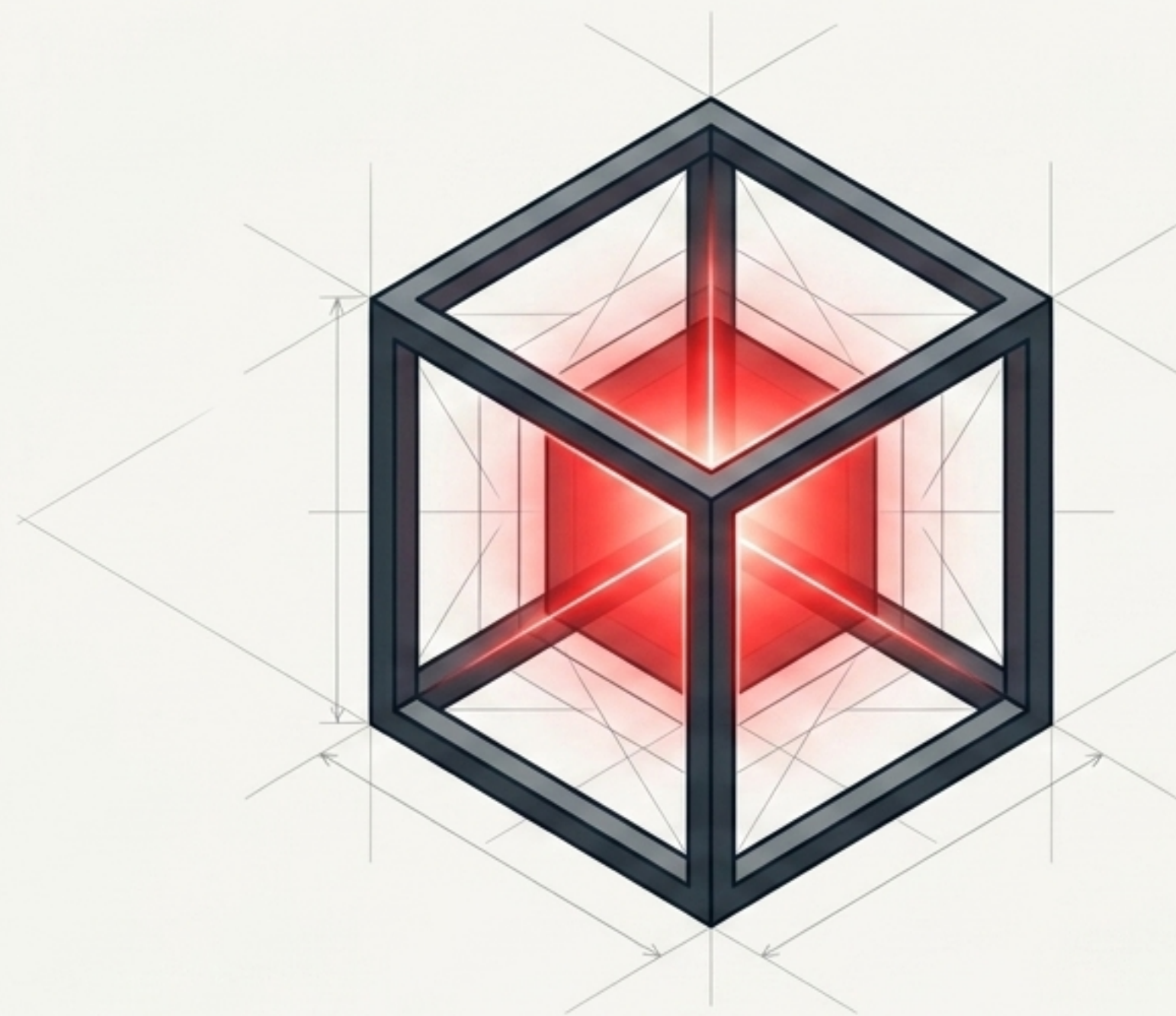
現実の世界は、動画のように都合よく編集されていない。
未加工の、時に混沌とした現実をそのまま噛み砕くためにこそ、文字を読む訓練が必要である。

文字の「行間を読む」ことと、現実の「意図を読む」ことは完全に重なる



文字を読む力とは、学校のテストを解くための国語力ではない。
目の前にある「編集されていない現実」を自分自身の脳で正しく読み解くための能力そのものである。

世界を自分で組み立てる力を、絶対に手放してはならない



文字だけで考えることから逃げる人は、
問いからも逃げ、現実からも逃げ、
最終的に「変化できない人間」になる。

ソモサンセツパは、
変化できる脳を維持するための、
現代における「思考の素振り」。

文字を読め。問いを読め。自分の現在地を読め。 文字だけで現実を立ち上げられる強靱な脳を構築せよ。